

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町ふるさと未来会議

大川原のアレコレ 伝えます



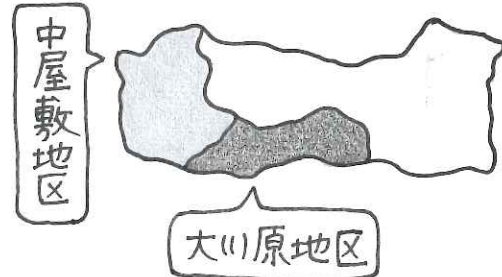
こんにちは。大熊町
職員の佐藤です。

5月から大川原地区で暮らしています。
避難指示解除から間もないこともあり、インフラ整備はまだまだこれからです。「どうしてそこに住んでるの?」「大変だね」とよく言われますが、約8年離れざるをえなかった地元にようやくり帰ってこられたという喜びを感じることができ
ます。この「大川原LIFE」では、住んでいるからこそわかる大川原のさまざまな情報をお届けしていきたいと思います。

* ✨ 手書きでつくりました ✨ *

✨ デジタルな文字では表現できない親しみやすさ、あたたかみを感じてもらえたらうれしいです ✨

＜大熊町地図＞



大川原・中屋敷って
どこなの?!

町面積の約4割を占める両地区。しかしその大部分が山林のため、居住できる区域は限られています。

住んでいる人は
共感する!?

大川原 あるある

① 買い置きは必須!

コンビニと反対の商店がオープンし、日中の買い物は困りませんが、閉店時間が早く夜にシャンプーの買い忘れに気がついたときは焦りました。

② 平日の夜は宅飲みで決まり!

近くに居酒屋やカラオケといった娯楽はありません。行くところがないので平日の夜は近所の人と宅飲みで盛り上がり、親睦を深めています。

③ 夜行火丁が少ない!

夜は本当に真っ暗です。懐中電灯がなければ外は歩けません。そのぶん星空はきれい☆

④ 野生動物との遭遇!

裏面で実体験を紹介します! ↓↓↓↓



8月4日(日)19時過ぎ、坂下
ダムへ通じる道の途中、道の真ん
中で寝ている2頭のイノシシと遭遇
しました。🚗 車で近づいてもライト
で照らしても動く気配がなく、
そのまま5分ほどにらめっこ…
おそろおそろクラクションを鳴らし
てみるとゆっくり立ち上がり、林の

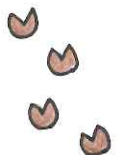
大型犬くらいの
サイズか…
突進されなくてよかった

中へ歩いて
いきました。

出没!イノシシ



それから数日後の朝、今度は
国道288号の道中に1頭のウリボー
と遭遇しました。先日と同様、
逃げる気配がありません。震災後
人間や車を恐れない野生動物が
増えているように感じます。
いつとび出してくるかわからないので
車の運転には注意が必要です。



親とはぐれたのかな?
しばらく立ちつくしていました

